

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

衣替えの先延ばしと、古布(古着)の家庭備蓄にご協力下さい



新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が出され、外出自粛を余儀なくされ、皆様ご不便な生活をされていることと存じます。出掛けられないということ、この機に断捨離をしよう、早めに衣替えをしよう、そう考える方が多いと思えますが、ちよつと待ってください！

実は今、古布のリサイクルがピンチなのです！

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、古布の輸出先であるフィリピンやマレーシアなどの各国で、海外からの輸入停止やロックダウンによる工場の稼働率ダウンが起きており、古布の海

外への流通が半分以上ストップしてあります。このため、古布問屋では、倉庫を借りるなどして対応しているのですが、このところの古布の回収量増大により、倉庫の受け入れが限界を迎えようとしています。当社でも、現状何とか受け入れをさせて頂いておりますが、いつ古布問屋からストップが掛かるか分からないため、関係各市には、組合を通して家庭備蓄の要請と、流通が停止した場合の対応のお願いをしているところがございます。

実際のところ、古布以外の資源物も、古紙、金属類を始め海外への流通が滞ってしまい、価格が暴落し、国内での在庫が増えている状態です。一方で、同じく断捨離をする方が多いことや、私も

そうですが、外ではなく家飲みするなど自宅過ごす機会が増えていることで、資源物全体の発生量が増えています。このため、古紙やアルミ缶についても価格が下がるなど影響が出ています。

話は戻りますが、古布の状況が急速に悪化したのは、輸出の割合が多いこと、濡れると資源にならず、屋根付きの倉庫での保管が必要など流通上の問題があるからです。

当社としても流通を止めないようには何とか手を尽くしてまいりますが、万が一、古布の流通が一時的にストップした場合には、集団回収における古布の回収を一時停止し、行政回収に出して頂くことも考えられます。その際は、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

第62号

発行元

株式会社
三栄サービス
東村山市久米川町
1-16-5
発行人 紺野琢生



IPSuS 0002394

不織布マスク・布マスクの分別にご協力ください

紙面がコロナ一色になってしまい恐縮ですが、このところ、感染予防のためにほとんどの方がマスクを着用されていることと存じます。感染症予防に役に立つマスクですが、処分方法を誤るとご自分以外の家族はもちろん、ごみ収集業者や私たち資源回収業者にも感染症をうつしてしまう可能性があります。マスクを処分される際には、環境省ホームページや各自治体のホームページにあるマスクの処分方法に従って、他人が間違つて触れることの無いようにしっかりと縛って燃やせるごみとして処分して下さい。

不織布のマスクや使用済みのティッシュペーパーなどが雑がみに混入しているケースが多くみられます。また、布マスクを古布に入れて出されるケースも散見されます。

古紙や古着は、回収の

三栄サービスでは、緊急事態宣言が発令されている中ですが、資源回収という社会的インフラを維持するため、出来る限りの対策をして営業しております。なお、新型コロナウイルス対策として、従業員へのマスクの配布と体調管理の徹底、除菌スプレーによる社内や車内の消毒、3班体制による時差出勤、休憩場所の隔離に取り組んでいます。全ての回収は予定通りに実施可能な体制ですが、団体様のご判断で回収を中止や延期にされる場合は、お早めにご相談下さい。

際にも触れてしまう恐れがあるだけでなく、選別作業の際にも触つてしまうリスクがあります。

また、そもそも不織布は紙ではありません。そして、使用済みのマスクやティッシュは感染の恐れが高いので、古紙や古布には絶対に混ぜないよう分別の徹底をお願いします。